

みずのわ

学校だより
【第5号】

令和2年8月27日(木)
石巻市立石巻小学校

【コロナ禍だからこそ・・・】

まだまだ残暑が続くような気配ではありますが、野の草花に目をやると、秋の足音を確実に感じ取ることのできる季節となりました。

さて、2学期がスタートして1週間が過ぎました。夏休みに入る前、子どもたちには、次の3つのことを頑張ってもらいたいという話をしました。

◇ 夏休み中に頑張ってもらいたいこと

- 1 読書
- 2 おうちの人とゆっくりすごす
- 3 4つの車を呼ばない・乗らない
(救急車・消防車・パトカー・怪しい車)



始業式で確認したところ、頑張れた子どもがたくさんいました。わずか12日間だけの夏休みでしたが、大きな事故等がなかったのは、規則正しい生活に御配慮いただいた保護者の皆様、そして、子どもたちを見守っていただいた地域の方々のお陰と感謝申し上げます。

2学期は、「学習参観」や「運動会」等、1学期に実施できなかった行事を、出来る限りの感染症防止対策を取った上で実施したいと思っております。もちろん、今後の感染状況によっては変更しなければならないことが出てくるとは思いますが、子どもたちの学習の様子を直接見ていただく機会を増やしていきたいと思っております。

ところで、今年度がスタートしてから、私が全校児童の前で直接話をしたことは一度もありません(入学式は1年生のみ・披露式は2～5年生のみ・朝会は放送)。私は、子どもたちの反応を感じないまま、放送で一方向的に話することに意義を感じなくなり、直接話す機会をもつことはできないものかと考えていました。そして、終業式と始業式は、三密対策を取り、1～3年生の部と4～6年生の部と式を2回実施することで、全校児童の半分ずつではありますが、子どもたちに直接話をすることができました。

その終業式及び始業式での子どもたちの聴く態度は大変立派であり、代表児童の話も素晴らしい内容でした。その中でも、6年代表の串山心遥さんの発表に感銘を受けましたので、一部を紹介させていただきます。

○ ……三つめは、学校生活ではなく、私生活の中でがんばってきたことです。学校が臨時休業中、私は毎日一人で留守番をすることが多くなりました。そこで、いつも朝早くから仕事に行っている母が少しでも楽になるように、家の中の掃除や洗濯などを毎日していました。始めのうちは、めんどうくさくて、やるのが嫌だなと思っていました。しかし、掃除や洗濯をする習慣が身に付き、学校が始まってからも土曜日や日曜日には自分からするようになりました。時間はかかってしまいましたが、きれいになったときに達成感を感じられるので、これからも続けていきたいです。……

私は、「コロナウィルス感染症が早く終息し、以前の生活に戻ってほしい」という思いばかりが先行していましたが、このコロナ禍だからこそやれること、やるべきことがあるのだということを、心遥さんに教えられました。

(校長/川田知宏)